

おもしろいレポートとは何か。おもしろい研究とは何か。

メディア学部メディア情報学科 大絵 晃世

よく学生たちに「どのようにレポートを書けば良いのですか」と聞かれる。今回は4月号ということで気持ちも新たに、学生向けとしてレポートや研究そのものについて書いてみたいと思う。

「レポート」とは厳密には学術的文書のひとつであり、自由記述の感想文やエッセイなどとは明確に区別される。感想文では感じたことをそのまま述べればよいが、レポートでは「問い」を立て、その回答を得るために文献調査やアンケートや聞き取りなどの調査を行い、「問い」に対する「結論」を導き出す。学術的文書ではとにかくこの「問い」が重要だ。「問い」がなければ、どのような素晴らしい文章も残念ながら「エッセイ」になってしまうのだ。

さらに、レポートと論文との違いは何かといわれれば、文理での違いはあれども、おおまかには「その研究分野における新しい知見を導き出しているかどうか」であるといえる（学会論文の査読が厳しいのは、このためである）。

よく卒論では「レポートのような論文」と非難されるような論文がある。だいたい、調べてきた情報を寄せ集めたようなものがそのように揶揄されてしまう（みなさん、コピペではなくしっかり引用しましょうね）。しかしながら、情報を羅列させるだけでも充分である場合もある。例えば、サーベイ論文や研究ノートがそれにあたる。まずはそれらを書くだけでも研究の第一歩であることは間違いない。しかし、4年生になっていざ卒業論文となると、だいたい手が止まってしまう。それもそうだ。全文書き下ろして、しかも論文を書いたことのない学生たちが長文を書かせられるのだから。しかし、最初に明確な「問い」さえ立てられれば、調査もどんどん進んでいくものだ。

ところで文系で、とくに史学や哲学などの分野での論文に対するありがちな批判で「研究の研究をしている」というものがある。つまり、過去の哲学者の文献を引用してきて比較をしたり、その哲学における新しい知見を導き出すというものだ。私にとっては大変高度な作業に感じるが、学会の学術論文では言葉の厳格性や先行研究からの新規性などから考えると、学界的には新しくとも、他分野の研究者からは進歩がわからないようにみえ、このような批判が存在するのだろう。日本の学会は細分・多岐にわたり、執筆にあたりお膳立てが多数必要なケースが多々ある。例えば医学系の知人から、日本の学会であまりに査読に通らないので、英訳して海外の学会に出したら、ほぼ文句なしで有名なジャーナルに掲載になったという話も聞いた。

海外の研究では、ダイナミックなテーマを掲げるものも多い。例として海外の大著をみてみよう。例えば「なぜヨーロッパ人は近世において世界中に植民地をつくることができたのか」という問いに対して、アメリカの生物地理学者ジャレド・ダイヤモンドの著名な『銃・病原菌・鉄』という著書では、ヨーロッパの地理と「銃・病原菌・鉄」の要素から人類のマクロヒストリーを解き明かした。一方芸術理論でいうと、アーサー・ダントーは著書『アートとは何か』で、その書名と同様の歴史的難解な問いに、社会学的な切り口で「アートワールド」がアートをそれたらしめることを導き出した。また、トマ・ピケティの有名な『21世紀の資本』では、資本主義がなぜ格差をもたらすかを改めて証明した。このよ

うに、海外の研究では大胆な問いを立て、それを立証するために膨大な調査研究を行う。

無論、ここまで大胆な問いであるは必要ないが、どの研究も最初は素朴な疑問からである。身近でちょっとした疑問でも興味深い研究になる可能性がある。論文に限らず、人生は問いに溢れている。研究は最終的には社会に還元されるべきものであるといわれるが、その発表形態はなにも論文でなくてもよい。たとえば、メディア学部なら「最初の3秒で人の心を掴む映像とはどういうものか」という「問い」を立てたら、他人の作品を比較してレポートにしても良いし、実際に映像を作ってみてもよい。それが将来の仕事につながる可能性だってある。そう、実技と研究も分けられがちだが、分ける必要もない。そもそも自身の「問い」が立てられたら、自ずからどこかに足を運び、文献を見つけたり風景に出会ったりしながら、自分の問いの答えとして、きっとおもしろい作品や文章が導き出されるはずである。

2023年 うさぎ年

今年の干支「うさぎ」にちなんで、うさぎに関連する本を展示しています。4月から新学期が始まりますが、読書で知識を蓄えて、うさぎのように飛躍できる年になるといいですね。

うさぎが登場する物語や絵本、うさぎの動物学など、幅広いジャンルの本を展示しているので、ぜひご利用ください。



アンケート結果のお知らせ

昨年11月～12月に実施したアンケートにご協力ありがとうございました。皆さんからいただいた質問・要望に対する回答は、図書館内/図書室内に「ご要望Q&A」として掲示していますので、ぜひご覧ください。アンケート集計結果は、図書館ホームページに掲載しています。

紀尾井町 キャンパス

ラーニング commons を活用しよう！

紀尾井町キャンパス 1号棟 2階のラーニング commons に、ホワイトボード2台を設置しました。電子黒板より使いやすいサイズで、軽いので移動も簡単。パーティション代わりにもなります。少人数のグループワークなどの際に、ぜひご利用ください。



◆開館カレンダー◆

- 開館 9:00-20:00
- 土曜日開館 9:00-17:00
- 短縮開館 9:00-17:00
- 休館



4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

東金図書館閉館後はネットラウンジをご利用ください(21:00まで開放)。※休館・開館時間は変更することがあります。詳細はホームページ、Twitterでご確認ください。